

# 3月21日からGINZA SIXで先行販売スタート!! FUKUSHIMA PRIDE 2018 collection 商品発表会のお知らせ

## コシノジュンコ氏をはじめとした世界的クリエイターが 福島県とタッグを組み、伝統工芸を未来へ発信

福島の伝統から現在そして未来へ繋がっていく最新の伝統的工芸品・地場産品を発表いたします



福島県では、伝統的工芸品・地場産品が抱える「消費者のライフスタイルや価値観の変化による需要減少」「人材・後継者不足」という課題解決を目的に、クリエイターとのコラボレーションによる魅力ある商品開発に取り組んできました。

このたび商品が完成しましたので、3月21日（水・祝）にGINZA SIX 6階 銀座 蔦谷書店 イベントスペースにて発表会を行います。

また、発表に合わせ、3月21日(水)から25日(日)には同場所にて販売会を行います。

商品開発には、会津木綿、和紙、ニットなど、県内計14事業者が参加。

①文化功労者（平成29年度顕彰）のコシノジュンコ氏による商品デザイン及びブランディングで高付加価値化を目指す「FUKUSHIMA PRIDE by JUNKO KOSHINO」のブランドコレクション（10事業者参加）と、②JAPAN DESIGN WEEK総合プロデューサーなどを務める川又俊明氏プロデュースによる、世界的に活躍するクリエイターとのコラボレーション（4事業者参加）を行いました。

コシノジュンコ氏とのコラボレーションではホテルや旅館の空間を彩る商品が開発され、川又氏によるプロデュースでは、新しい生活様式やターゲットへの商品提案や最新テクノロジーとの融合を通じて、伝統的工芸品を現代の生活に合った商品を消費者に提供いたします。

クリエイターとのコラボレーションにより、福島の伝統工芸・地場産品の新しい未来が広がっています。

**【商品発表会】平成30年3月21日（水・祝）15:30～18:30**

（内容） 15:30～16:00 プレスプレビュー

16:00～16:30 トークイベント

【コシノジュンコ氏×福島県知事 内堀雅雄】

17:00～18:30 ローンチパーティー

本発表会へのご取材は、3月14日（水）までに最終ページの用紙にてお申込をお願いします。



## ■ 参加事業者

白河産業（株）（会津木綿・白河市）  
（有）井上窯（二本松万古焼・二本松市）  
（有）千藤（会津塗・会津若松市）  
小浜製作所（有）（金属加工・南相馬市）  
（株）東工業（金属加工・白河市）  
二本松市和紙伝承館（上川崎和紙・二本松市）  
（株）関美工堂（会津塗・会津若松市）  
世界のガラス館（ガラス工芸・猪苗代町）  
（有）フクイシ（石材加工・田村市）  
（株）大三（ニット・伊達市）

## ■ 商品概要

クッションカバー、トートバックほか  
陶器  
漆×ガラスの食器  
カトラリー  
照明器具  
ランチョンマット、一筆箋ほか  
漆塗りのバッグ  
ガラスの食器  
石の食器  
ブランケット、ストール

## ■ コシノジュンコ氏 コメント

### 対極の美と福島の技

福島の伝統工芸や最先端の技術を、現在から未来への継承・革新と発展を導く架け橋として、「食」と「空間」をテーマに福島ならではの熟練、卓越した「技」を存分に活かしながら現代の多様化するライフスタイルに融合するデザインを考えました。

福島の伝統産業も東日本大震災で多くの被害を受け、後継者問題などに直面しています。デザインを通し、新しい空間創造の支援をする事が福島地場産業の復興と発展に向けコシノジュンコとして寄与出来る事だと思います。

コシノジュンコの基幹コンセプトである「対極の美」（自然が創り出した丸、人間が創り出した合理の四角や白と黒などの対比と共存の美しさ）“コントラスト”から本コレクションは白と黒をテーマに和紙、石、漆、硝子、陶器、金属、木綿、ニットなど福島の素材でコシノジュンコ流おもてなしのデザイン空間を演出し、数百年に渡り続く福島の伝統技術や最先端の技術をデザイン表現しています。



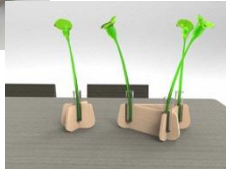
### 【コシノジュンコ氏 略歴】

装苑賞を最年少の19歳で受賞。1978年～2000年までパリコレクションに参加。北京、ニューヨーク、ベトナム、キューバ、ポーランド、ミャンマーなど、世界各地にてファッションショーを開催。オペラからブロードウェイ・ミュージカル、スポーツユニフォーム、インテリアデザインまで幅広く活動。

2017年 シャンパーニュ騎士団より「ダム・ド・ヌール」叙任。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員。福島県「ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー」初代校長。TBSラジオ「コシノジュンコ MASACA」放送中。

2025年国際博覧会誘致特使。平成29年度、文化功労者顕彰。

## (株) 会津松本 (会津桐/会津若松市) × 平社直樹氏



- 事業者 会津松本
- 商品 AIZU KIRI FUNITURE

### 平社直樹氏コメント

日本の桐加工技術は、古くから主に着物を収納する箆笥や貴重なものや箱を作ることに用いられてきました。育ちが早く軽い桐は、加工がしやすいという優れた特徴がある一方で強度に弱点があり箱形状であれば構造的にもたせることができますが、椅子やテーブルなどの脚で荷重を支える構造物には向いていないとされてきました。今回、会津松本の研究で得られた技術により、強度の課題をクリアし桐の軽さを活かしたデザインを完成させることができました。

### 平社直樹 (ひらこそ なおき) / hirakosoDESIGN

東京都生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。株式会社リビングデザインセンター退職後、hirakosoDESIGN設立。株式会社リバースプロジェクト、プロデューサー・ディレクター・デザイナー兼任。家具やインテリアアクセサリの商品開発、空間設計、グラフィックなどジャンルを問わず、バリューアップの解答を探し出し、目的・機能に必要な最小限の要素のみを抽出したミニマムな美しさを持つデザイン設計に努めている。



## 白河だるま総本舗 (白河だるま/白河市) × 川本尚毅氏



- 事業者 白河だるま総本舗
- 商品 だるまくじ / ポリゴン・ダルマ

### 川本尚毅氏コメント

ダルマの新しい形を作ってみたい。そんな想いから白河だるま総本舗さんとの共同開発が進む事となりました。ツルっとして丸いダルマの形をカクカクした方にできないか。伝統的な製法と基本の形状を保つつつどこまでポリゴンタルな形状で「だるま」の形状や表情を表現できるか。三角形の面で構成されるポリゴン形状は三角形の数や分割の仕方で見目の表情が大きく変わります。各エッジの集合する点や面分割の場所や方向などを小まめに制御しながら形を決めていく作業、要素をそぎ落としたポリゴン形状であるがゆえに難しいところでもありました。

### 川本 尚毅(かわもと なおき) / N&R Foldings Japan Co.,Ltd.

1980年、広島・呉生まれ。  
東京で環境デザインを学んだ後、ロンドンに渡り、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、インペリアル・カレッジ両大学で工業デザイン工学の修士号を取得。現在は横浜に拠点を置き、(株)NandR Foldings Japanを立ち上げ活動中。代表作に、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートでの卒業制作であるORISHIKIシリーズ、BAOBAOイッセイミヤケとのコラボレーションである "Distortion" がある。



## 野沢民芸品製作企業組合 (張り子/西会津町) × ヘンキ・レオン氏



- 事業者 野沢民芸品製作企業組合
- 商品 シリーズ鳥 東北編 / ラッキーキャット MONO

### ヘンキ・レオン氏コメント

初めて福島を訪れ、西会津の工房に伺った際、商品への自信と愛を強く感じました。伝統を守りながらも新たな試み続ける野沢民芸の皆さんに、今度は私から驚きと喜びを感じるデザインをお渡ししたいと思いました。東北6県の鳥たちは微細な柄を手描きで忠実に再現していただき、招き猫はシンプルな形状とデザインだからこそその難しさがあつたと思いますが、職人の皆さんの技で、完璧な仕上がりです。これらが新しい張り子のスタンダードになることを祈りながら、この機会を与えて下さった皆さまに感謝いたします。

### ヘンキ・レオン / Airside日本

英国プリンス大学を卒業した2000年より、ロンドン拠点とするデザインスタジオAirsideにてデザイナーとしての活動をスタート。プリント、デジタル、インタラクティブ、映像などあらゆるメディアに対応したデザインを提供し、D&A、Bafta、デザインウィークアワードなどでの受賞作品を多数創出。またデザインアワードの審査員、デザイン学校でのレクチャーなどUKのデザインシーンを牽引してきました。2010年秋、Airside初の海外拠点を築くため活動の場を日本へと移し、現在は日本にいながらUKデザインを発信するクリエイティブ・ディレクターとしてAirside日本を率いています。



## (株) 正木屋材木店 (木工品/いわき市) × 水野憲司氏

- 事業者 正木屋材木店
- 商品 位はい ~大切なひととわたしをつなぐ~

### 水野憲司氏コメント

正木屋材木店が主宰する木工集団(もこのこ)とは、東日本大震災後に人々の心の拠り所となる、現代のライフスタイルにあった神棚を開発。この事業では、一から開発テーマを考え、もこのこが開発した神棚の後継となるような商品「大切なものと向き合う」を開発テーマとして、商品とデザインを考えました。この位牌は、合掌するようなデザインをしてあります。法話では右手が私で、左手が仏様という意味があり、この位牌も手を合わせるように二つが一つとなり、触れたり、持ち運べたりできます。また、故人に花を手向けるようにカラーバリエーションのある位牌を考えました。大切な故人と心で向き合うことができ、故人と私をつなぎ、現代のライフスタイルに寄り添う新しい位牌をもこのこデザインできたと思っております。

### 水野 憲司 / mizmiz design

東京生まれ。2003年工学院大学大学院修了。設計事務所を経て2012年mizmiz designを設立。建築設計・空間デザイン、インテリアデザイン、プロダクトデザインを行い、プロジェクトのコンセプト立案から完成まで携わる。プロジェクトの本質を考え、シンプルで新しいカタチやスタイルを提案し、その先の風景をイメージしながら、物語性のあるデザインをしている。手掛けたデザインは、日本や海外メディアなどに取り上げられ、日本インテリアデザイナー協会JID賞、グッドデザイン賞など受賞多数。



## ■ 川又 俊明氏



### 【略歴】

茨城県生まれ。  
早稲田大学卒業後、「TOKYO DESIGNERS WEEK」を主催するDESIGN ASSOCIATION NPOにて、15年に渡り統括プロデューサーを務める。  
数々のクリエイティブ・プロジェクトのプランニング、プロデュース、ディレクションを担当  
商品開発、イベント、展示、広告、CI、販促、映像制作、空間デザイン、映像制作、店舗開発  
、アート制作、デザインアワード等、その領域は多岐にわたる。  
今年4月には青森県弘前市の伝統的工芸品をプロデュースし、ミラノへ出展した。  
ものづくりに挑む若き匠の支援プロジェクト「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」のサポートメンバーを務める。  
当事業にはプロデューサーとして参加する。

## ■ コメント

だるま、桐箆笥、木工、張り子、、、福島にある素晴らしい匠の技で「NEW STANDARD」を創ることをテーマに商品開発に取り組みました。それは、新しいテクノロジーとの融合、新しいターゲットや新しい生活様式の提案、継続展開できる新しいラインナップ、、、決して打ち上げ花火的な商品ではなく、伝統から現在そして未来へと産業として繋がってくための新しいチャレンジを事業者とクリエイターとともに目指しました。福島の伝統工芸のこれからを表現した「懐かしさのある未来」を感じてもらえたら幸いです。

## ■ 福島県について

福島県は、東北地方の一番南、東京からはおおむね200km圏内に位置し、全国で3番目の県土を誇ります。南から北へつらなる阿武隈高地と奥羽山脈によって、中通り・会津・浜通りの3つの地方に分けられ、それぞれの地域で個性豊かな地場産業が育まれました。県が指定する伝統的工芸品は40にもなり、最近では、伝統の技を継承しつつ、新たなデザインや技法を取り入れた商品も生まれています。

## ■ 今後のスケジュール

下記にて2018コレクション一部先行販売、さらに2017コレクションの販売をします。

### FUKUSHIMA PRIDE 2018 collection

場所：GINZA SIX 6階 銀座 蔦谷書店 イベントスペース

日時：2018年3月21日(水・祝)～25日(日)

内容：2017年発表商品の販売 ※一部2018年新作先行販売あり

### FUKUSHIMA PRIDE by JUNKO KOSHINO 2018 collection in Paris

場所：The Peninsula Paris (フランス・パリ)

日時：2018年3月24日(土)～約1週間を予定

内容：2017年発表商品の販売 ※一部2018年新作先行販売あり

## ■ 問い合わせ先

### <事業全般に関すること>

福島県観光交流局県産品振興戦略課

TEL:024-521-7296

担当：若林

### <PRESS CONTACT>

株式会社ワンオー PR01.

TEL:03-6433-5159

担当：小山

